

令和6年度 武蔵村山市小学校長会

I 活動方針・重点事項等

- ◎まちづくり学習の推進
- 学力向上・規範意識の醸成・基本的な生活習慣の定着
- 小中一貫教育の推進
- 教員の働き方改革の推進

II 活動・取組

1 学校経営協議会

市教育委員会が主催するマネジメント研修会(定例校長会)を受け、当面する教育課題について協議する場として、月1回会場を各校持ち回りで実施している。

- ① 市教育委員会の施策を受け、密接な連携の基、効果的な実施方法を検討する。
- ② 学校経営の円滑な推進を行うために情報交換の充実を図りそれぞれの経営に活かす。
- ③ 中・長期的展望の下、学校教育の充実・振興を図るため校長会として具体策を提言する。
- ④ 今日的課題を捉え、学校経営に資するため研修を進める。

2 学校経営研修会

市教育委員会の指導・助言の下、小・中学校校長会が主催し、管理職及び学校運営の中核を担う教員に対して、視野を拡げ、見識を深めるとともに、今日のかつ喫緊な教育課題についての解決策を探究するための研修会を実施した。対象は、副校長、主幹教諭、主任教諭及び中堅教員である。今年度も管理職選考合格者が複数名出ており、成果が上がっている。

3 武蔵村山市公立小学校教育研究会

「本市の小学校教育を振興するために必要な研究活動をし、併せて教員の資質向上を図ること」を目的に14部会(令和6年度)を組織し、小学校教員が全員参加する。今年度は、年間3回の授業研究会を原則とし、授業検討と研究授業を勤務時間内のそれぞれの部会開催日で確保する。

III 特色・特徴等

1 小規模校長会の利を活かした校長会組織としての取組

市教委の教育施策を受け、足並みを揃えた情報の共有化、意見交換及び迅速な協議を行うことが可能であり、このことが各校の創意工夫や地域性を踏まえた積極的な課題解決に寄与することにつながっている。また、小規模の校長会(小学校9校、中学校5校)の利を活かし、各学校の実情に合わせた市教育委員会への意見具申や連携等、迅速な対応もできた。働き方改革については、校長会から提言したことが一部受け入れられ、改善が図られるなど、一定の効果を上げながら進めている。

2 小中一貫教育の推進

本市は、全校がコミュニティー・スクールであると同時に、全校で小中一貫教育を実施している。施設一体型の小中一貫校村山学園(四小・二中)、施設隣接型の小中一貫校大南学園(七小・四中)はもちろん、その他の小中学校も全て中学校区を核とした小中一貫教育を推進しており、それぞれの中学校区で合同研究会や合同研究授業も実施している。